



令和2年4月21日 14時00分  
資料配布 近畿地方整備局  
姫路河川国道事務所

国道2号 <sup>ひめじ</sup> 姫路バイパス <sup>とまみ</sup> 苦編地区北側側道橋 令和5年春に開通へ  
～通学児童・利用者の安全・安心の確保、アクセス性向上～

国土交通省が整備を進めている国道2号 <sup>ひめじ</sup> 姫路バイパスのうち、<sup>ひめじ</sup> 姫路市 <sup>とまみ</sup> 苦編地区北側側道橋について工事の進捗が図られたことから、令和5年春に開通する見通しとなりました。

一日も早い開通に向け、引き続き、安全に配慮しながら事業を進めて参りますので、ご理解、ご協力をお願い致します。

■期待される整備効果

- ①通学児童・利用者の安全・安心の確保
- ②沿道地域へのアクセス性向上

<取扱い> \_\_\_\_\_

<配布場所> 兵庫県政記者クラブ、中播磨県民センター庁舎内記者室

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 姫路河川国道事務所

副所長 <sup>いしなべ</sup> 石鍋 <sup>かずふみ</sup> 一文(内線205)

調査課長 <sup>まえば</sup> 前羽 <sup>としはる</sup> 利治(内線451)

電話:079-282-8211 (代表)

# ○国道2号 姫路バイパス事業の概要

ひめじ  
国道2号姫路バイパスは延長18.4kmの道路で、昭和41年より事業に着手し、昭和60年12月には4車線で完成しています。

現在、姫路市<sup>とまみ</sup>苫編地区では通学児童・利用者の安全・安心の確保、沿道地域へのアクセス性向上を目的に<sup>あがほ</sup>英賀保駅周辺土地区画整理事業と連携して側道橋を整備しており、令和5年春に北側側道橋について開通する見通しとなりました。

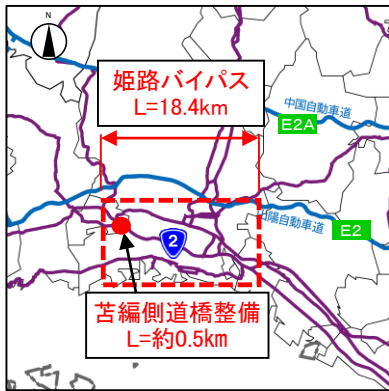
## ○道路概要(北側側道橋)

整備箇所	姫路市 <sup>とまみ</sup> 苫編
整備延長	約0.5km
構造規格	第3種第3級
設計速度	40km/h
車線数	1車線
標準幅員	8.29m

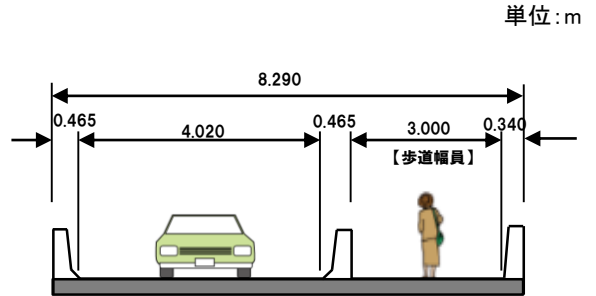
## ○事業の主な経緯(北側側道橋)

年度	事業実施項目
平成13年度	都市計画変更
平成27年度	用地取得完了
平成30年度	北側側道橋整備着手

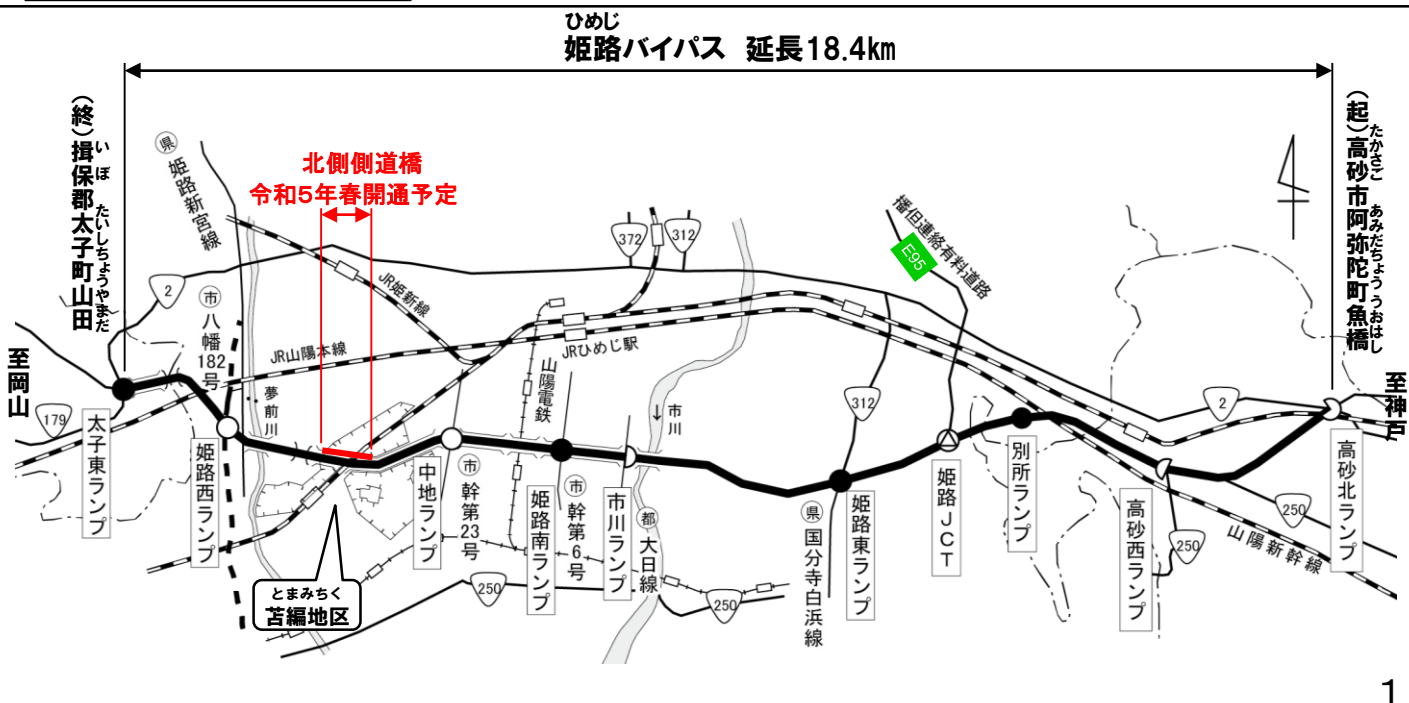
## 【広域図】



## ○標準断面図(北側側道橋)



## ひめじ 姫路バイパス 延長18.4km

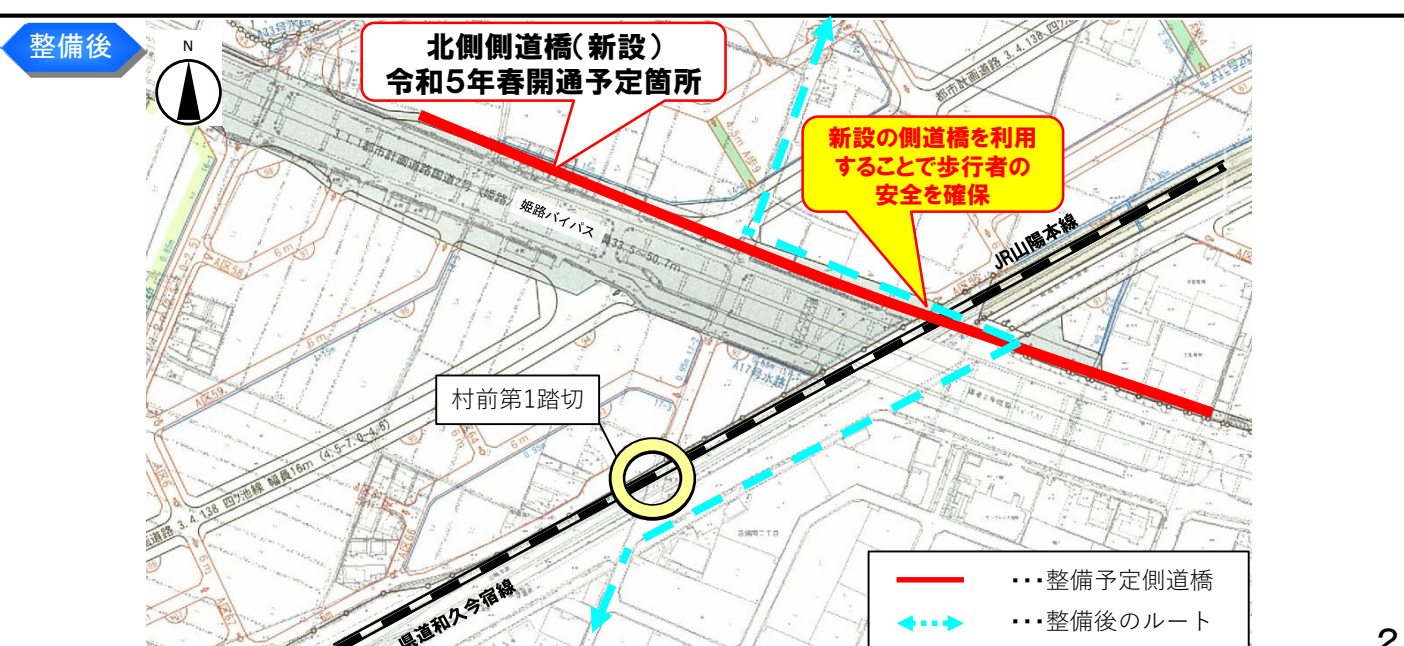
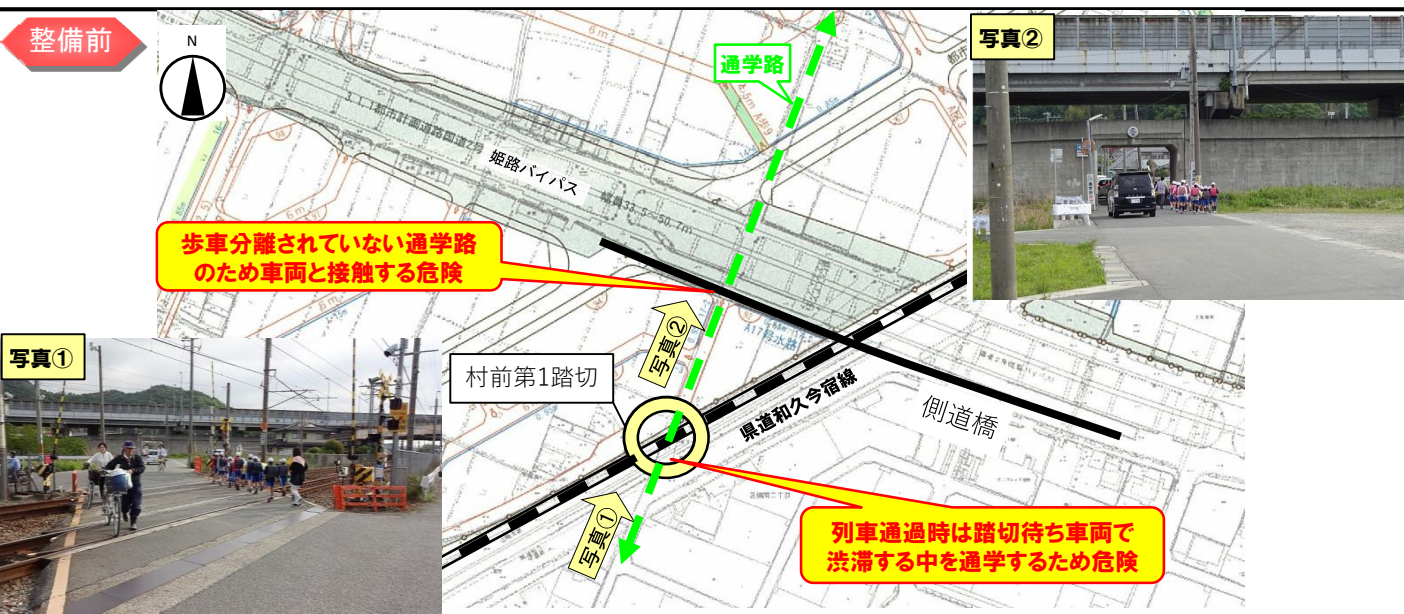
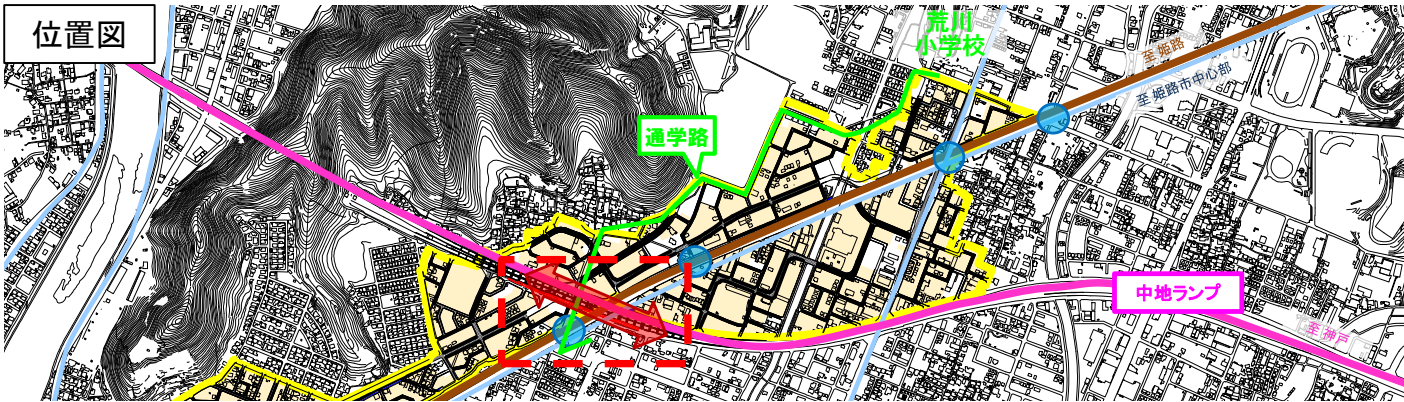




# 通学児童・利用者の安全・安心の確保

姫路市<sup>とまみ</sup>苦編地区では、JR山陽本線の踏切や歩車分離されていない区間が通学路に存在しており、安全確保が課題とされています。

北側側道橋の開通により、利用者の安全・安心につながることを期待されます。



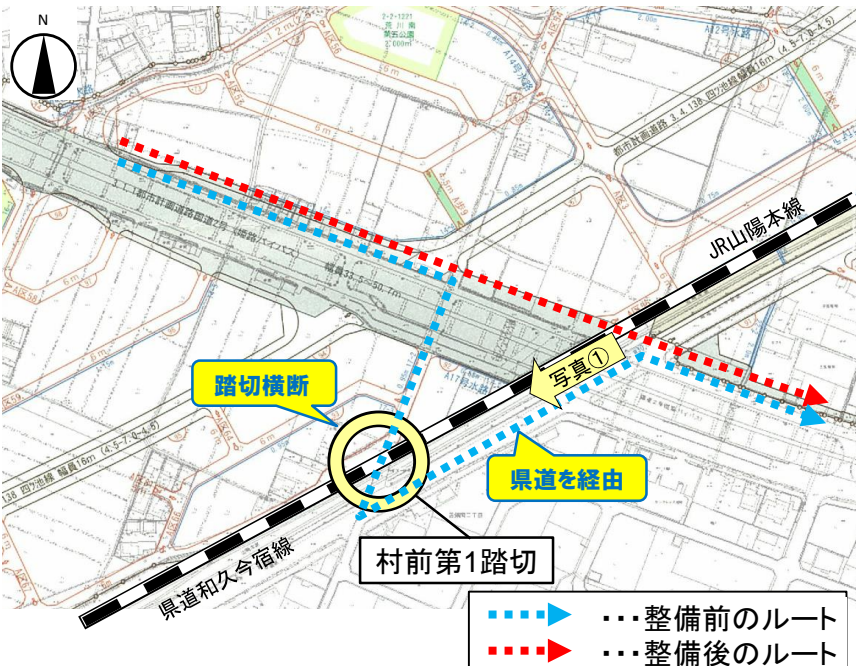
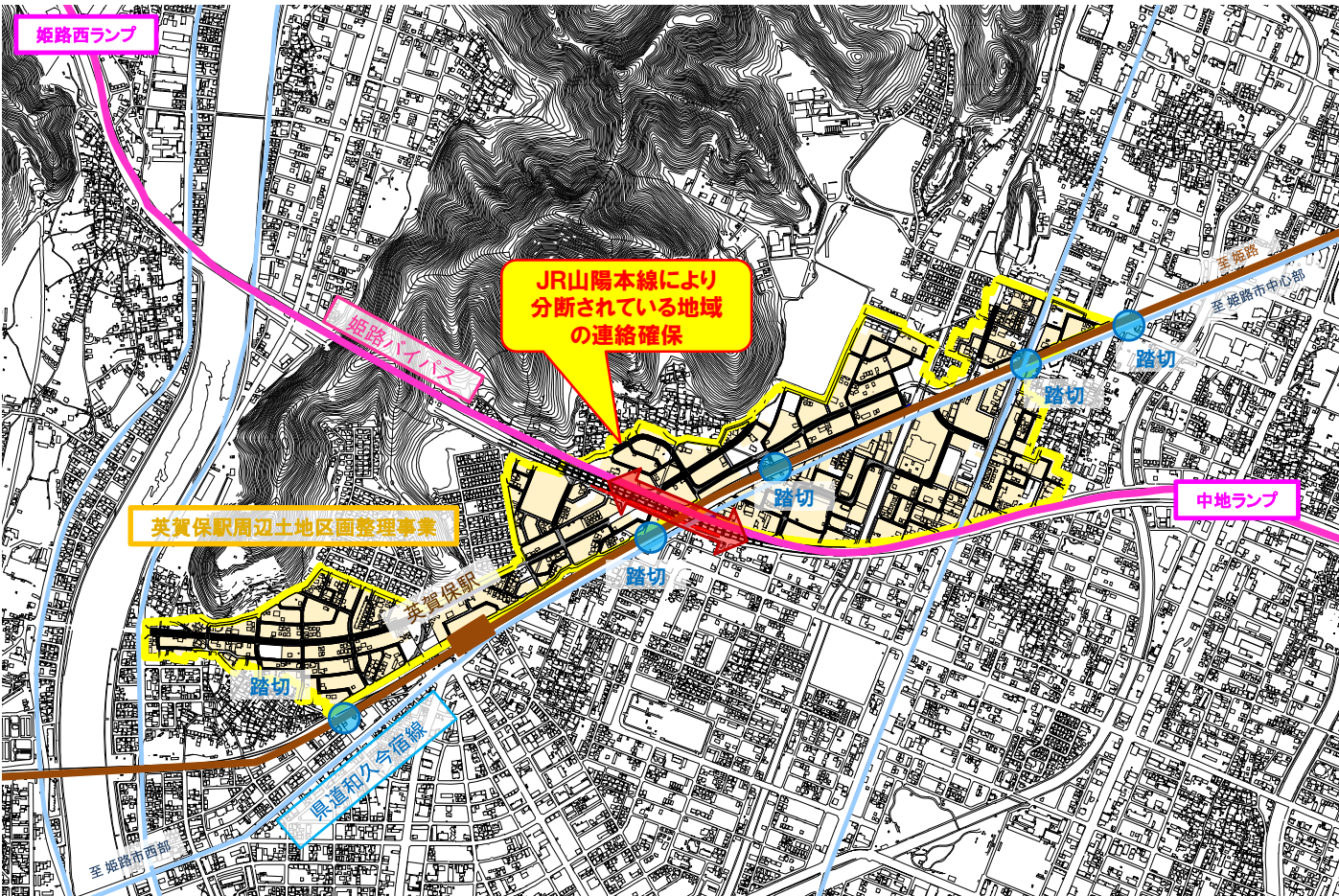


# 沿道地域へのアクセス性向上

とまみ

姫路市苦編地区では、JR山陽本線により、南北地域が分断されています。また、周辺道路では踏切による渋滞が課題となっています。

北側側道橋の開通により、南北地域間のアクセス性の向上や、慢性的な渋滞が発生している県道の交通分散が図られ、渋滞緩和が期待されます。



姫路市中心部や中地ランプへのアクセスに必要な踏切と県道の経路を省くことができる。



村前第1踏切付近 (令和2年3月撮影)